

FEI グランプリ馬場馬術課目

時間 5'45" (参考時間)

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

馬匹の最低年齢：8才

順 序	運 動 課 目	最 高 点	採 点	修 正	係 数	合 計	着 眼 点	観 察 所 見
1.	A 収縮駢歩で入場 X 停止 - 不動 - 敬礼 収縮速歩で発進 XC 収縮速歩	10					ペースおよび停止と移行の質 真直性 コンタクトと頂の位置	
2.	C 左手前蹄跡へ入る HXF 伸長速歩 FAK 収縮速歩	10					整正、伸縮性、バランス、 後躯の活力、オーバートラック フレームの伸展、両移行	
3.	KB 右へハーフパス	10			2		速歩の整正と質、安定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、真直性 肢の交叉	
4.	BH 左へハーフパス HC 収縮速歩	10			2		速歩の整正と質、安定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、 肢の交叉	
5.	C 停止 - 不動 5歩後退、ただちに収縮速歩で発進	10					停止と移行の質 透過性、流暢さ、 正確な後退（斜対）の歩数	
6.	MV 伸長速歩	10					整正、伸縮性、バランス、 後躯の活力、オーバートラック フレームの伸展、伸長速歩への移行	
7.	VKD パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ、背と運歩の弾力性 パッサージュへの移行	
8.	D ピアッフェ12-15歩	10			2		整正、体重を支える、セルフキャリッジ 活発さ、背と運歩の弾力性 明確な斜対での歩数	
9.	D パッサージュ-ピアッフェ -パッサージュの移行	10					リズムの維持、収縮、セルフキャリッジ バランス、流暢さ、 真直性、明確な実施	
10.	DFP パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ、 背と運歩の弾力性	
11.	PH 伸長常歩	10			2		整正、背の柔軟、活発さ オーバートラック、肩の自由さ ハミへの伸展、常歩への移行	
12.	HCM 収縮常歩	10			2		整正、背の柔軟、活発さ 歩巾の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ	
13.	M パッサージュで発進 収縮常歩-パッサージュの移行	10					流暢さ、扶助への反応の良さ セルフキャリッジ、バランス、真直性	

FEI グランプリ馬場馬術課目

出番順

競技者名

所属

馬名

順 序	運 動 課 目	最 高 点	採 点	修 正	係 数	合 計	着 眼 点	観 察 所 見
14.	MRI パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ、背と運歩の弾力性	
15.	I ピアッフェ12-15歩	10			2		整正、体重を支える、セルフキャリッジ 活発さ、背と運歩の弾力性 明確な斜対での歩数	
16.	I パッサージュ-ピアッフェ -パッサージュの移行	10					リズムの維持、収縮、セルフキャリッジ バランス、流暢さ、 真直性、明確な実施	
17.	ISE パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ 背と運歩の弾力性	
18.	E 左収縮駢歩で発進 EKAF 収縮駢歩	10					明確な実施と流暢な移行 駢歩の質	
19.	FXH 斜線上2歩毎の踏歩変換9回 HCM 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
20.	MXK 伸長駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン、 歩巾とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向 真直性	
21.	K 収縮駢歩、踏歩変換 KA 収縮駢歩	10					斜線上の踏歩変換の質 明確さ、スムーズな移行の実施	
22.	A 中央線上に入る DG間 中央線の両側に5回のハーフパス (各頂点で踏歩変換) 最初と最後のハーフパスは左駢歩で3歩、 他のハーフパス3回は6歩 G 踏歩変換 C 右手前蹄跡に入る	10			2		駢歩の質 安定した屈曲、収縮 バランス、手前変換の流暢さ 左右対称な実施 踏歩変換の質	
23.	MXK 斜線上歩毎の踏歩変換15回 KA 収縮駢歩	10			2		正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
24.	A 中央線上に入る L 左ヘピルーエット	10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性、屈曲 正しい歩数(6-8歩) 前後の駢歩の質	
25.	X 踏歩変換	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
26.	I 右ヘピルーエット C 右手前蹄跡に入る CM 収縮駢歩	10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性、屈曲 正しい歩数(6-8歩) 前後の駢歩の質	
27.	M 収縮速歩 MR 収縮速歩	10					流暢さ;明確さ、 スムーズな移行の実施	
28.	RK 伸長速歩 K 収縮速歩 KA 収縮速歩	10					整正、伸縮性、バランス 後駆の活力、オーバートラック フレームの伸展、両移行、コレクション	

FEI グランプリ馬場馬術課目

出番順

競技者名

所属

馬名

順 序	運 動 課 目	最 高 点	採 点	修 正	係 数	合 計	着 眼 点	観 察 所 見
29.	A 中央線に入る DX パッセージ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ、背と運歩の弾力性 パッセージへの移行	
30.	X ピアッフェ12-15歩	10			2		整正、体重を支える、セルフキャリッジ 活発さ、背と運歩の弾力性 明確な斜対での歩数	
31.	X パッセージーピアッフェ ーパッセージの移行	10					リズムの維持、収縮、セルフキャリッジ バランス、流暢さ、 真直性、明確な実施	
32.	XG パッセージ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ 背と運歩の弾力性	
33.	G 停止-不動-敬礼	10					停止と移行の質、真直性 コンタクトと頂の位置	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
	計	440						

総合観察

1. 騎手の姿勢、騎座：正確かつ有効な扶助

10			2		総合観察所見
460					
	計				合計得点率%

減点すべきもの/ペナルティポイント

経路違反 430条6.1を参照

1回目 = 2%減

2回目 = 失権

その他の違反は1回ごとに2点減

430条6.2を参照

審判員署名

FEI 2009年1月1日施行、JEF 2009年4月1日施行
JEF 2012年2月1日更新
FEI, JEF 2014年1月1日施行
FEI, JEF 2015年1月1日施行
FEI 2016年1月1日更新、JEF 2016年4月1日施行
FEI 2017年1月1日更新、JEF 2017年4月1日施行
FEI 2018年1月1日更新、JEF 2018年4月1日施行